

〔オーディオと私〕

**A AFC入会の動機**

私は取手市(旧藤代町)に住んでおりますが、昨年の9月27日に手賀沼公園内のアビスタホールで行われたA AFC主催「秋のオーディオコンサート」を、我孫子市布佐に在住の友人の誘いで聴きに行くことになりました。

そこでは「われら自作派」のタイトルで会員の自信作品が発表され、製作された方々が自由にオーディオを楽しみながら、人生をエンジョイしている生き生きとした充実感が伝わって来てとても印象的でした。

又、一丸となってコンサートを企画、実行しているA AFC会員の皆様方のご努力と団結力は、しっかりとした体制で運営されている組織であることを実証しておられました。

コンサートの休憩時間に受付を担当されていた、女性3人の方に入会の勧誘を頂き、会の説明をして下さった幹事長の山本様の誠実で温厚な人柄にひかれ、その場で即入会させて頂いた次第です。

早いもので入会させて頂いてから9ヶ月になろうとしています。その間に例会や分科会(時々参加させて頂きました)などで日頃のクラブ活動の一端を体験させて頂き、ハードとソフト両方に、期待していた以上の素晴らしい内容に入会して良かったと思っております。

幅広いジャンルの音楽に深い造詣の方も多く居られ、それぞれの個性的な発表が楽しみであり、ほとんど音楽が解からない、云わば音楽盲の私としては学ぶことばかりでもあります。

**趣味としてのオーディオ**

オーディオを趣味としたきっかけは中学一年生の頃、同級生から貰った壊れたゲルマニウムラジオを組み直して、クリスタルイヤホンから音が出た時の感激があまりにも強烈だったことによります。

それ以降はおさまりのラジオ少年の道を辿るわけですが、中学三年までに並3ラジオ、高一ラジオ、5球スーパーラジオなどを作りました。

高校にはいると益々オーディオにのめり込んでいきました。

とは言え、その日の食事にも事欠く貧乏な家庭の高校生には、毎月の技術雑誌に掲載されるオーディオアンプやスピーカースステムの製作記事は正に絵に描いた餅で、ただ溜息まじりに見ているだけでした。

そんな状況の中、「初歩のラジオ」誌の6RA8ppモノラルアンプの製作記事に目を奪われました。どうしてもこのアンプを作りたくて母親に頼みこんで製作費を工面して貰い、当時人気のパイオニアPAX20Fというコアキシャル2ウェイユニットを、適当なバスレフBOXに入れ、音出した時の感動は今でも忘れることはできません。

高校2年の時、「無線と実験」誌1966年10月号に、日本ビクターが同年7月14日に東京国立教育会館、虎ノ門ホールにおいて市販の自社製品を使用し、オーケストラとの生すりかえに成功した記事が掲載されました。その時の使用機器も詳しく紹介され、機器の高性能と高価格に驚嘆した記憶があります。この頃の情感が、我が人生に大きく影響を与えることになりました。

その後電気系の学校を卒業して某、映像音響メーカーに就職し定年まで40年間勤めました。その間にも飽きも

せず、趣味としてオーディオを続けてまいりました。

**現在のオーディオ環境**

毎日音の無い日はありません。聴くジャンルはクラシックが主ですが、軽音楽、ロック、演歌、青春歌謡などなんでも有る雑聴症です。その中でもモーツァルトとメンデルスゾーンを好み、演奏者関連ではハスキル、アツカルド、グリユミオー、ランパル、ベーム、ワルター、カラヤンといった所です。

機器類はBGMとAV用として、それぞれのシステムにFMチューナー、CD、カセットデッキ、DVDなどをつないで音を流しております。

メイン用としてスピーカーにはタンノイCantemporary15HE、ビクターISX-V1XM、SX-V1AM、三菱P610を2系統、他自作2ウェイなどです。ネットワークなどの自作も楽しんでおります。

プリアンプはマランツ#7を2台、ラックスCL35改、EQ付の自作品、VT522ラインアンプなどです。

パワーアンプは全て自作の管球式です。300Bシングル、VT25A pp、VT62 pp、6A3 pp、6GA4 pp、6RA8 pp、50CA10 pp、6550 pp、10EM7 ppなどを適当に使っています。

ソースはアナログプレイヤー3台、CD3台です。現在の音にそれほど不満はありませんが、これで良しといった状態でもありません。

**今後のオーディオについて**

自分の好む音で、音楽を聴くために真空管アンプを自作しますが、製作すること自体をも趣味としております。今度は、こんな真空管とトランスを使っての着想の元に設計し、自分が

最良と信じる部品を集め、シャーシに穴を開け、配線が終わり、測定器になき調整し、想定していた数値が得られ、どんな方形波がでるかワクワクしながらオシロを見る瞬間がたまりません。

そして試聴となり「僕ちゃん満足♪」の音に仕上がった場合には、オーディオは実に楽しいと一人悦んでいる至福のひと時です。遠い昔にゲルマニウムラジオを作ったときの童心に返れる時でもあります。

「光陰矢の如し」最近、月日の流れが特に早く感じられるようになりました。友人曰く、それは歳のせいだよと言いかたづけられてしまいました。

まだやりたいことが沢山ありまして、今年中に名器、三菱P610の指定箱を響きが良いという針葉樹合板で作ること、超低p3極管の6336Aでppアンプを作ること、三途の川を渡る前にあと10機種位のアンプの音を聴きたいことなどです。

これからも先輩会員諸氏のご教示を賜りながら、音楽を楽しんで行きたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

つまらぬ粗記雑文をお読み頂きありがとうございました。

**制作したアンプの調整や性能向上のために使用する測定機器類。**

